



グリップヒーターHG 取り付けについて

適合車種：KLX230/S/SHERPA)

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

●接続する前に（重要）

セット内容に不備が無いかを確認してください。
また、本説明書に記載の無い各部のボルト、
ナットの取り外し方については車両のサービス
マニュアルを参考にしてください。

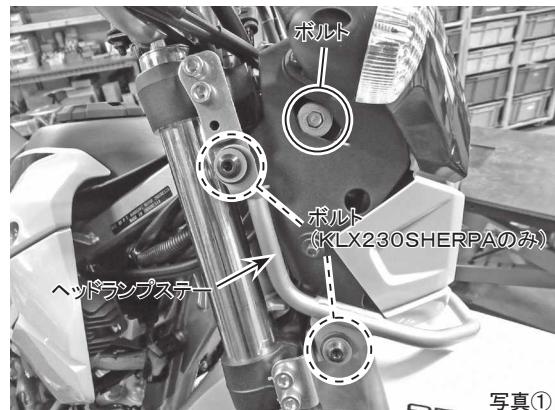
《取り付けについて》

①電源ハーネスの接続

グリップヒーターを接続する前に車両の
サービスマニュアルを参考にして、
ボルトを左右各1ヶ所取り外します。
(写真①)

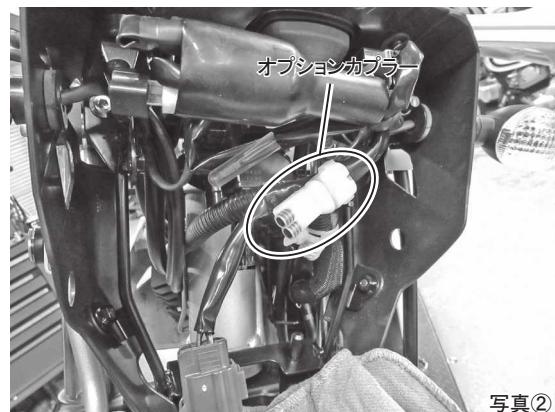
※KLX230SHERPAについては

先にヘッドランプステーを先に外してから
ヘッドランプASSYを取り外してください。



その後、内側にあるカプラー接続を
外してから、ヘッドランプASSYを
車体から取り外します。

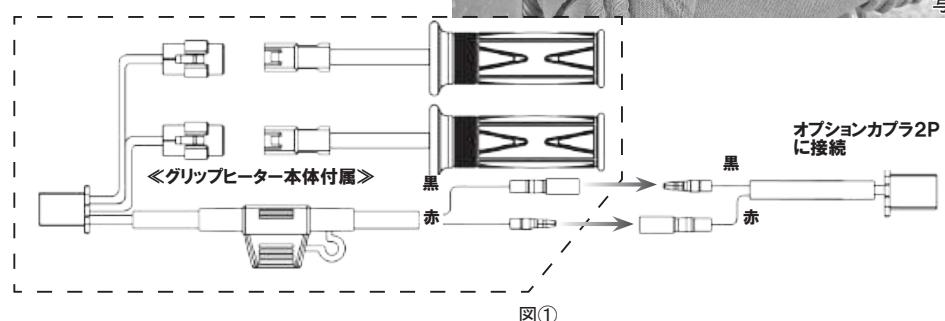
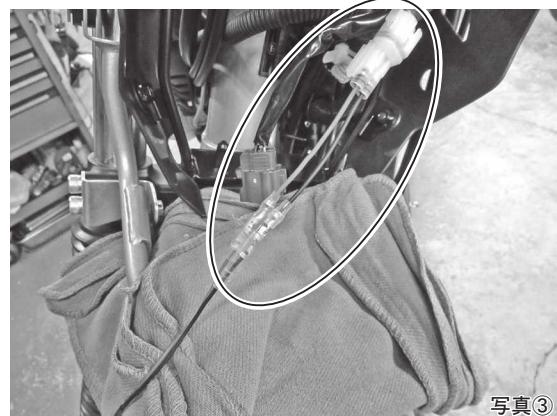
そして、ヘッドランプカバー下にある
オプションカプラーの位置を確認して
おきます。(写真②)



●構成部品

- 専用スロットルパイプ・・・1個
- 電源ハーネス・・・1本

オプションカプラーに付属の電源ハーネス
を接続します。(写真③)
その後、図①を参考にして左右グリップ、
スイッチを仮接続して、グリップヒーター
の動作確認をしてきます。
問題無く動作すれば、グリップとスイッチ
はいったん外します。



②純正グリップの取り外し

左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着している
ボンドをパーツクリーナーなどできれいに取り除きます。

③スイッチ部の取り付け

グリップヒーターに付属のステーを
写真④のように、ハンドルバーに
はさんで共締めします。
また、スイッチ部はハンドルを切った際に
干渉がないように調整してから両面
テープなどで取り付けしてください。

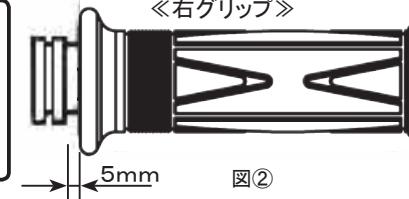


④左右グリップの取り付け（参考例）

下記の図①を参考にして、本取り付けキットを使用してグリップヒーターを接続した後、スイッチをONにしてグリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。また、右グリップはサービスマニュアルを参考に純正を取り外して付属のスロットルパイプに交換して、図②のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。

▲注意

左右のグリップ共にグリップから出ている配線の位置を確認してから取り付けしてください。また、右側はスロットルを回した時に配線には絶対負荷がかからないようにしてください。グリップから配線が出ている部分は弱く、断線して破損してしまう恐れがあります。



図②

●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に1分以上は暖めないでください。（特に右側）。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離した状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

⑤配線のまとめ（参考）

左右グリップの取り付けが終わったら、車両のハーネスやスロットルケーブルなどに沿わせながら、各配線を通して接続します。

配線の長さが余ってしまっている部分は結束バンドなどでうまくまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かしてハーネスに力がかかっていないか、ハンドル操作、レバーの操作の邪魔になっていないか、スロットル操作の邪魔になっていないかどうか確認します。

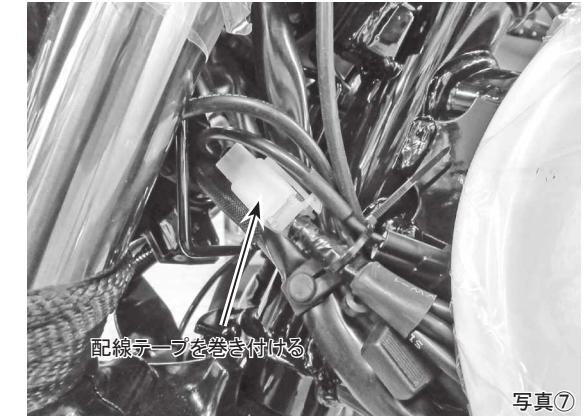


写真⑤



写真⑥

※このとき、ハーネスのカプラーやギボシ部は防水ではないので配線テープ等を巻き付けて防水処理を施してください。（写真⑦）



写真⑦

⑥エンドキャップの取り付け

（※SHERPAには取り付けません）

車両にはバーエンドがついていないため、グリップヒーターに付属のエンドキャップを取り付けします。

このとき、グリップを取り付けした際に使用した接着剤で取り付けますが、スロットル側は内部に接着剤が入ってスロットル動作に支障がおこらないようご注意ください。



写真⑧

⑦取り付け完了

取り外したカウルなども元に戻す前に、イグニッションキーをONにして再度、グリップヒーターの動作確認をします。問題なく温まったら、取り外したもの元に戻して取り付け完了です。

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上のイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
endurance-parts.com

2025.02.03